

西陣を中心とした地域の活性化ビジョンの構成（案）

活性化ビジョンの目次

- 1 ビジョン策定の背景と目的
- 2 西陣を中心とした地域のポテンシャルと課題
- 3 西陣を中心とした地域の将来像
- 4 実現の方策
- 5 実現に向けて

1 ビジョン策定の背景と目的

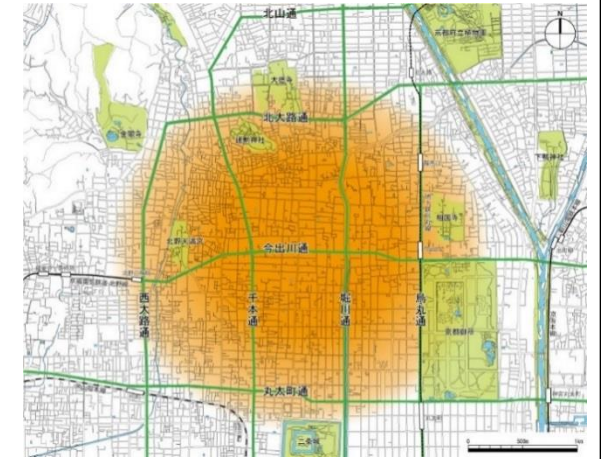
<目 的>

西陣を中心とした地域は、西陣織をはじめとする伝統産業、伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、商店街、観光スポット、多くの学生など、多彩な資源を有している。また、伝統をベースに時代の新たな知恵・技術を取り入れて、変革の中で発展を続ける精神で、何度も危機を乗り越えてきた地域でもある。

現在、産業振興や文化継承、町並み保全など、喫緊の課題に直面しているが、西陣の誇る資源と変革の精神を最大限に発揮しつつ、さらには、文化庁がこの地域に全面的に移転してくることも捉え、文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進するため、西陣を中心とした地域の活性化の指針となるビジョンを策定する。

<対象エリア>

「西陣」地域の明確な定義はないことから、地域性を丁寧に踏まえながら、活性化の方策に応じて、「西陣を中心とした地域」として柔軟かつ効果的に捉える。



2 西陣を中心とした地域のポテンシャルと課題

<ポテンシャル>

<課題>

<p>歴史・文化・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や伝統文化の集積 ・生活に根付いた文化・祭り ・濃密な地域コミュニティ ・多くの新住民 ・大学のまち・学生のまち ・高い定住意向 ・近所に凄い人材 ・文化庁の全面的移転 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で文化を感じられる場面の減少 ・和装を楽しむ機会の減少 ・北西部で人口減少、高齢化 ・自治会の高齢化による地域力低下の懸念 ・地域のつながりの希薄化
<p>まち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京町家や歴史的な景観 ・多くの文化財、寺社 ・自転車で移動できるコンパクトな地域 ・歩いて楽しめる発見のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・京町家や歴史的な町並み景観の減少 ・防災・防犯面の不安 ・交通利便性の満足度の低いエリアがある
<p>産業・商業・賑わい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西陣織の文化・産業の魅力 ・西陣織で培われた美意識、デザインの蓄積 ・職住一致・近接のまち ・職人文化（繁華街、食文化） ・「ものづくり・職人のまち」のイメージ、期待 ・多様性を許容するまち ・クリエイティブな拠点の増加 ・先端企業の拠点の設置 ・京町家や低家賃の不動産の活用可能性 ・賑わいを創出する企画 ・多彩な市民活動 ・おしゃれなお店の増加 ・知られていない多彩な地域資源 	<ul style="list-style-type: none"> ・西陣織産業の低迷 ・職住一致の減少 ・地域を支える産業の不在 ・事業者間のつながりが弱い ・まちの賑わいの低下 ・商店街の低迷 ・観光客がスポットに偏在、低い回遊性
<p>ブランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西陣のブランド力（海外や大手メーカー等からの高評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の魅力、ブランドの発信不足 ・拠点の不足

3 西陣を中心とした地域の将来像

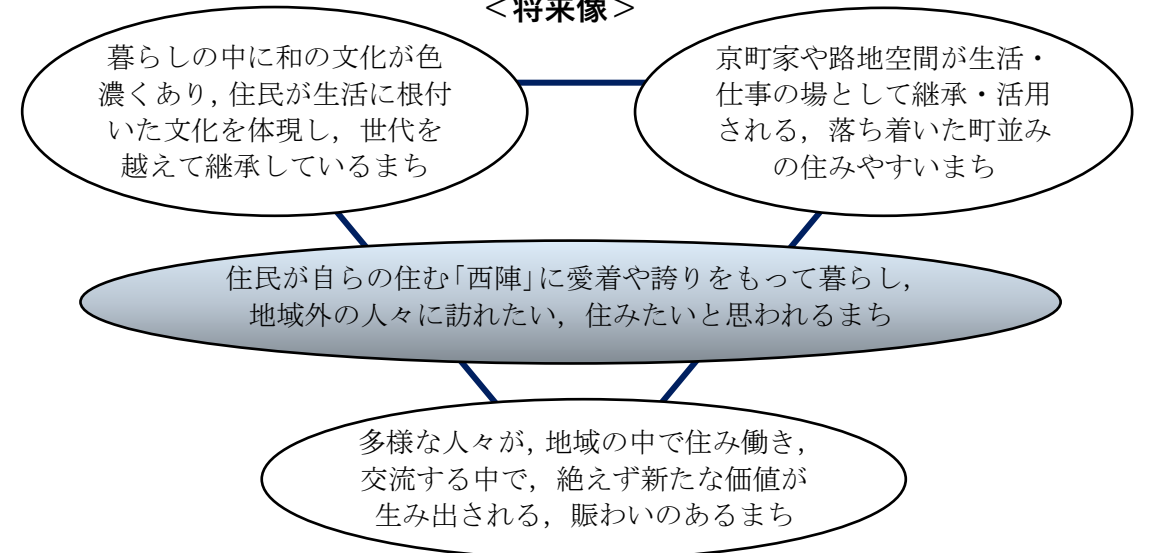
<将来を展望するコンセプト>

「つながりによる創造」と
「変革によるまちの継承」 **Re 西陣(仮)**

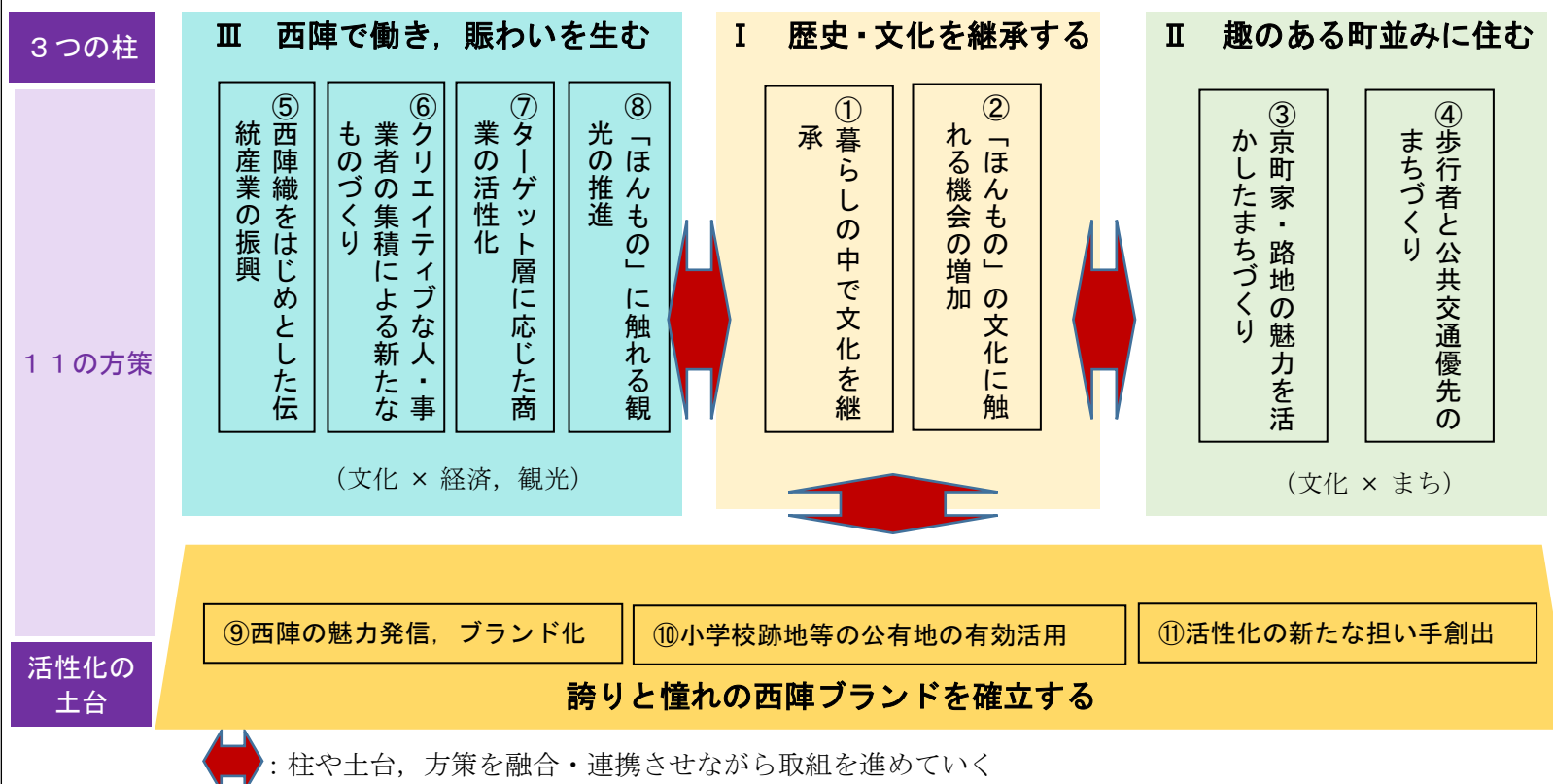
※Re=何度も繰り返し困難を乗り越え、発展し続けるイメージ

- 『つながりによる創造』
西陣の様々な資源（人、もの、寺社、大学など）をつなぐことで、新たな展開を生み出し、価値を創造する。
- 『変革によるまちの継承』
西陣のまちを継承し伝統にするためには、様々な変化を生み出し、それを許容する風土が必要。

<将来像>



4 実現の方策 ～西陣の文化を基軸とした融合のまちづくり～ <3つの柱と土台, 11の方策>



5 実現に向けて

- ・推進体制
- ・進捗管理

行政, 事業者, 地域, 住民などが役割分担しながら、「じぶんごと」「みんなごと」で推進する。

その際、学生や若手, 地域で働く人, 寺社などもネットワークを形成し, 多様な担い手により活性化に向けた取組を進める。

参考資料

- ・検討経過
- ・市民意見募集の結果
- ・委員名簿